

建設報道

週刊ワークス

WORKS

大分市大字光吉1015番地12 TEL 097-567-0324 FAX 097-569-7994 E-mail: info@eworks.jp

月間購読料 ¥6,380 税込み (FAX・メール情報サービス込み) HPアドレス: <http://eworks.jp/>

毎週月曜日発行

発行元 (有)サムライズ

2023
年
12月

(6) (第三種郵便物許可)

ご購読者様にお得なお知らせ

週刊紙をご購読の方

建築速報が無料です!

まる 配信日 週3回 月 水 金
メール配信のみ

祝日以外の毎週月・水・金の3回メール配信となります。

※FAX版は有料となります。

※ご購読にはお申し込みが必要です。

お申込み
お問い合わせ
097-567-0324

今週の特集 ◇ 番匠

第1341号 2023年(令和5年)12月4日 月曜日

カワラ版

週刊 WORKS

建設業界のカワラ版

清松総合鐵工(株)

12月から奨励金制度採用

「職場つみたてNISA」の説明会

清松総合鐵工(株)(清松芳夫代表取締役社長、宇佐市大字尾永井470番地の1)は11月17日、従業員の将来の安心と福祉の向上を目指し、新たな施策として社員を対象に「野村の『職場つみたてNISA』説明会」を同社1階朝礼広場で大分銀行&野村証券の担当者を招き開催した。12月から個人投資家を対象にした優遇税制「NISA」で積立投資を行い社員に対して毎月1万円以上の奨励金を出す取り組みを始める。

説明会では、大分銀行宇佐支店の佐竹慶治郎支店長代理と、大分銀行&野村証券の担当者として大分銀行アセットコンサルティング室の寺本俊平中津コンサルティングプラザ推進役が講師として、同社社員に「野村の『職場つみたてNISA』について説明した。

職場つみたてNISAは、特に企業の従業員を対象としたもので、雇用主が労働者に対して提供する形で運用される。野村の「職場つみたてNISA」のポイントは①利用条件(日本国内に住む18歳以上が利用できる)②いつでも売却可能(使途に制限はなく、必要な時にいつでも引き出せる)③分配金・売却く値上がり)益が非課税④ウェブ・アプリで手続きが出来る(利用者は、ウェブ・アプリを使って申込や手続きをオンライン上で完結できる)⑤商品ラインナップ(長期投資に向く厳選された商品)⑥少額から積立が出来る(月々の掛け金は、積立投資枠千円~10万円、成長投資額千円~上限なし)一が特徴。

統計によると、NISAを現在やつ

ている人(35%)、経験があるが今はやっていない(8%)、経験はないが関心がある(43%)、経験も関心もない(12%)とあり、8割強の人がNISAに関心を持っている。しかし、その半分の人がNISAに取り組んでいないことになる。それはNISAに取り組もうとしても難しい言葉が並んでいて、まずは何をすれば良いか分からない。誰に電話すれば良いのか?投資口座を開設するにはどうすれば良い?どんなメリットがありリスクがあるのか?それこそ投資に対する勉強不足が原因で多くの人がNISAに関心があるのに取り組んでいないという状況である。

日本銀行大分支店が今年1月に発表した「大分県民の金融リテラシーの特徴」では、資産管理面の調査で1カ月の支出を把握している人の割合が全国最下位、ニッセイアセットマネジメント調べでも投資した経験がある人の項目で第一位東京都の61.4%に対して大分県は23.6%で全国最下位となる。

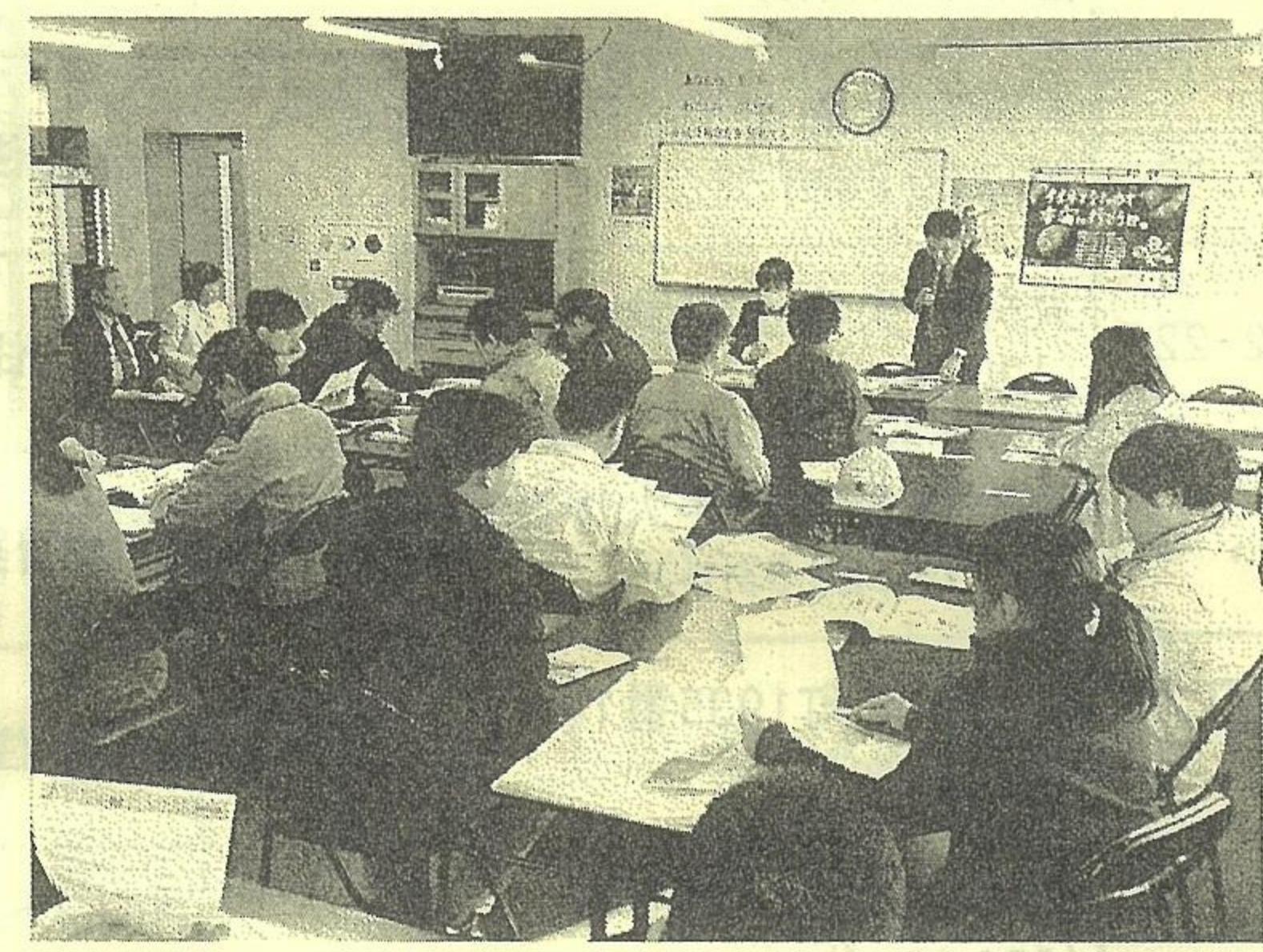
そんな現状を憂いて同社では、まずは社員一人ひとりの投資口座の開設を会社で手助けし、さらに給

料とは別枠で月額1万円以上の積立NISA奨励金を支給することで投資へ関心を後押ししようと考え、今回、社員に対する説明会を大分銀行&野村証券の担当者を招き同社員向けに説明会を行った。

清松社長は「この取り組みをきっかけに社員が自分の人生設計を考え、日本の経済に興味を持ち、政治にも関心を広げてくれる」と話す。

い。会社が社員一人ひとりの将来を考えているというメッセージにもなるため、この制度を採用した。社員にも不安なく働いてもらいたい」と話す。

つみたてNISAを活用した資産形成
職場つみたてNISA



<職場つみたてNISA説明会>

